

小中一貫教育推進協議会での主な意見（滝野地域）

視 察 前	視 察 後
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の悪い影響が心配である。 ・失敗例をもっと知りたい。 ・保護者は、通学のことが一番不安に感じているのではないか。 ・ソフトは後から変えられるので、ハードをしっかりしていただきたい。 ・滝野地域はH40年に開校という話もあって、まだ実感がないというのが大方の感覚ではないか。 ・視察先は加東市に近い状態が良い。 ・地域、保護者全体が参画した学校づくりをしていこうとすることは素晴らしい。 ・新たな学校文化をつくるという考え方がいいと思う。 	<p>①先進校視察結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校開校と運営に向けた地域住民の組織づくりが大事である。 ・地域の協力が必要と感じた。 ・よく考えられて造られており、施設・設備がとてもよい。 ・施設は一体型とするべきである。 ・しっかり準備してやれば小中一貫校は成功すると感じた。 ・バス通学をしているところの様子も知りたいと思った。 ・荒れている様子はなく、よい環境であるという印象がある。 ・運動場などが少し狭いと感じたが、滝野地域であればよい環境を整えられるのではないかと思った。 ・校長のリーダーシップだけでなく、学校運営できるシステムをつくる必要がある。 ・実際に行ってみることで小中一貫校がよいものであると実感した。 <p>②課題の整理と対応方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加東市はひとつと考えると、小中一貫校を建設する期間を圧縮してほしい。 ・施設のアドバンテージということなどのイメージの共有化が大事である。 <p>③今後の協議の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝野地域も計画を具体化するために内容をつめていったほうがよいと思う。 ・通学の不安もあると思うので、場所を滝野中学校周辺としてシミュレーションしたものを示してほしい。